たまてばこ

～たまな市議会だより～

令和8年
9月定例会
令和8年11月1日発行
NO.84



◀表紙の施設
ログさんち インスタグラムへ

もくじ

P.2～3 …… 9月定例会報告
P.4～5 …… 昨年度決算報告・今年度補正予算報告
P.6 …… 委員会審査報告
P.7～11 …… ここが聞きたい！一般質問（14名）
P.12～13 … 議員勉強会報告・先進地視察レポート
P.14 …… 12月定例会スケジュール

**熊本地震で被災された皆様に対し、心よりお見舞い申し上げます。
皆様の安全と健康をお祈りし、１日も早い復興に向け、被災された皆様に
寄り添った議会活動に尽力して参ります。**

令和8年　第3回定例会（9月）

8月27日 ▶ 9月25日　30日間

９月定例会では、令和７年度歳入歳出決算、令和８年度一般会計補正予算、条例の一部改正、人事、専決処分事項の承認など22議案を決定した。

また、議第72号は修正可決、議第74号～77号の４議案、意見書案１件は否決、請願１件は継続審査とし閉会した。

決定した主な事業

① 災害復旧事業 …… 3,243万円
（令和８年６月大雨に伴う災害復旧事業）

② 介護施設整備事業 …… 1,729万円
（介護予防拠点施設及び地域密着型特別養護老人ホームの施設整備に対する支援）

③ 地域農業経営安定推進事業 …… 4,076万円
（認定新規就農者等の経営発展に向けた農業用機械・施設等の導入に対する支援）

認定した前年度（令和7年度）決算

一般会計決算：歳入決算額　398億6,932万円
歳出決算額　385億4,149万円

議案の審議結果

■全会一致で決定した議案

※氏名の敬称略

議案番号	件　名
議第63号	専決処分事項の承認について　専決第12号 玉名市税条例の一部を改正する条例の制定について
議第64号	令和7年度玉名市一般会計歳入歳出決算
議第65号	令和7年度玉名市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算
議第66号	令和7年度玉名市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
議第67号	令和7年度玉名市介護保険事業特別会計歳入歳出決算
議第68号	令和7年度玉名市浄化槽整備事業特別会計歳入歳出決算
議第69号	令和7年度玉名市水道事業会計決算
議第70号	令和7年度玉名市公共下水道事業会計決算
議第71号	令和7年度玉名市農業集落排水事業会計決算
議第73号	令和8年度玉名市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）
議第78号	玉名市漁港管理条例の一部を改正する条例の制定について

議案番号	件　名
議第79号	玉名市水道事業条例の一部を改正する条例の制定について
議第80号	玉名市農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例の制定について
議第81号	玉名市浄化槽施設条例の一部を改正する条例の制定について
議第82号	工事請負契約の変更について
議第83号	教育長の任命について　（再任 福島　和義）
議第84号	教育委員会委員の任命について　（新任 豊田　哲彰）
議第85号	固定資産評価審査委員会委員の選任について　（再任 津崎　伸宏）
議第86号	固定資産評価審査委員会委員の選任について　（新任 松本　忠光）
議第87号	固定資産評価審査委員会委員の選任について　（新任 森山　博子）
議第88号	財産の取得について
議第89号	令和8年度玉名市一般会計補正予算（第5号）

■全会一致で否決した議案

議案番号	件　名
議第74号	令和8年度玉名市浄化槽整備事業特別会計補正予算（第1号）
議第75号	令和8年度玉名市水道事業会計補正予算（第1号）

議案番号	件　名
議第76号	令和8年度玉名市公共下水道事業会計補正予算（第1号）
議第77号	令和8年度玉名市農業集落排水事業会計補正予算（第1号）

議案の審議結果

■全会一致で修正可決した議案

議案番号	件　名
議第72号	令和8年度玉名市一般会計補正予算（第4号）

6年ぶりの修正動議可決

議案修正の理由

水道・下水道などの料金減免では、井戸水利用世帯など支援を受けられない市民が生じる。同じ物価高騰の影響を受ける中、支援に差が出ることは公平性の面で課題がある。そこで予算を一旦減額し、すべての市民に、より公平な支援策への再構築をしてもらいたいとの考えから予算の修正を求めた。

請願の審議結果

番　号	件　　名	所属委員会	委員会結果	本会議結果
請第3号	豊かな学びの実現を図るための2027年度玉名市における特別支援教育支援員の増員を求める請願	文教厚生委員会	継続審査 （全員一致）	継続審査 （全会一致）

〈継続審査の理由〉　判断に必要な情報収集と具体的な解決策を見いだし、さらなる調査研究と内容を精査する時間が必要であるため。

意見書の審議結果

■賛否の分かれた議案

○･･･賛成　×･･･反対

議　案	吉田 憲司（創政未来）	吉田眞樹子（創政未来）	北本 将幸（創政未来）	多田隈啓二（創政未来）	右田 憲吾（市民）	大野 豊重（市民）	一瀬 重隆（市民）	梅田政次郎（自友）	山下 桂造（自友）	松本 憲二（自友）	江田 剛（新生）	田中 美鈴（新生）	坂本 公司（新生）	西川 裕文（新生）	坂西 麻由（第二新生）	西村 太（第二新生）	立川 信之（第二新生）	緒方亜利沙（第三新生）	中村 慎吾（第三新生）	田浦 敏晴（第三新生）	徳村登志郎（無会派、公明党）	議決結果
議員提出議案 意見書案第１号　非核三原則の堅持を求める意見書の提出について	×	○	○	×	○	○	○	○	×	○	×	○	×	議長	×	×	×	×	×	×	○	否決 （賛9、反11）

※創政未来…創政未来/　市民…市民クラブ　/　自友…自友クラブ　/　新生…新生クラブ　/　第二新生…第二新生クラブ　/　第三新生…第三新生クラブ　/　無会派…会派に属さない議員
※各会派の並びは届出順とし、会派内の並び順は議席番号順とする

討論　私はこう考える!!

意見書案第１号　　非核三原則の堅持を求める意見書の提出について

原案反対　**山下　桂造**

周辺国の核増強など危機が迫る中、理想論や過去の枠組みに縛られ防衛の選択肢を狭めることは抑止力を弱め、国民の命を危険にさらすため、現実的な国防の視点が必要である。よって非核三原則堅持の意見書案に反対する。

原案反対　**吉田　憲司**

衆議院での採択から55年が経過し、近年では日本の安全保障環境が大きく変化している。この脅威が急激に増している中、厳格な非核三原則の堅持を、今、あえて国に求めることには慎重な立場で提出には反対する。

原案賛成　**田中　美鈴**

国際情勢が厳しさを増す今こそ、唯一の被爆国として非核三原則を堅持し、核抑止力に依存せず対話と平和外交を先導すべき。国際的信頼を守り、次世代に平和を継ぐため、地方から国へ意思を発信すべく本請願に賛同する。

原案賛成　**大野　豊重**

玉名市は昭和60年に非核を宣言し、現在も有効である。市長も非核三原則は尊重すべき方針との考えを示している。子どもたちに平和の尊さを伝えるためにも、非核三原則を将来にわたり堅持することを求め、賛成する。

原案賛成　**梅田　政次郎**

核兵器のない世界を希求する本意見書の理念を重んじる。あわせて、国民を守るため、将来の安全保障における柔軟性の確保と、人員・機材・コストの現実的な制約を踏まえた国防論議が必須であると申し添える。

修正動議とは…議案の内容に対し、議員が必要に応じて修正案を提案する動きのこと。

予算決算委員会（令和7年度　決算）9月11日(金)・14日(月)

地域ニーズに応える公共交通

質問 県北病院への移動など地域の声を踏まえ、高齢化を見据えた公共交通の充実・見直しを進める考えは。

答え 県北病院へ行きたいなどの要望は把握している。今後、地域の声を公共交通会議に伝え、「どうしたらできるのか」という視点で委員に提案をしていく。

海外販路拡大事業の実績と課題

質問 販売額の推移は。令和７年度の販売額が急減した要因と、今後の対策はどうなっているか。

答え 販売額の実績は、令和５年が約4,231万円、令和６年が約3,966万円、令和７年が約1,989万円である。令和７年度の急減は、台湾向け青果物の残留農薬検査の厳格化等が主因であり、今後も対策を進める。

公民連携推進の成果

質問 アドバイザー業務で学んだ内容が、実際にどの事業へ生かされ、具体的な成果につながっているのか。

答え 中央病院跡地や旧庁舎跡地の活用、蛇ヶ谷公園の環境整備などに、アドバイザーの助言を生かしている。今後も公民連携の考え方を具体的な事業につなげたい。

新玉名駅周辺の民間開発の進捗は

質問 新玉名駅周辺整備事業における、民間企業の進出や開発計画の具体的な成果はどのようなものがあるか。

答え 新玉名駅北側で160室のビジネスホテルが建設中であり、令和９年４月開業予定。駅南側では民間アパート４棟や住宅分譲地11区画の内、３区画の建築が進んでいる事などが成果として挙げられる。

生ごみ減量への取組

質問 生ごみの水切りを徹底すれば、ごみの重量や処理負担の軽減につながる。周知を強化しては。

答え 広報紙やごみカレンダーで水切りによる減量を周知している。生ごみ処理機への補助も行ない、家庭から出る生ごみの減量に取り組んでいる。

健診で脱メタボ！玉名市ワースト２位

質問 働き盛りの40・50代の受診率が低く、玉名市はメタボ該当者が14市中ワースト２位である。受診率向上への取組を伺う。

答え 自覚症状がない時期の予防が重要である。広報紙等で現状を分かりやすく伝え、受診につながるよう啓発する。未受診者への個別の声掛けも検討し、メタボをはじめ、病気の早期発見と重症化予防に努める。

防災の新拠点！水防センター

質問 国交省整備の防災ステーション内に市が建設する水防センターでは、どのような施設を整備するか。また、落成式等の計画は。

答え 市建設の水防センターでは、排水ポンプ車庫、備蓄資材倉庫、会議室等を整備し、今年度末に完成予定。また、国交省整備の多目的広場はスポーツ可能であり、国交省主導で開催予定の落成式と併せて、周知を検討中。

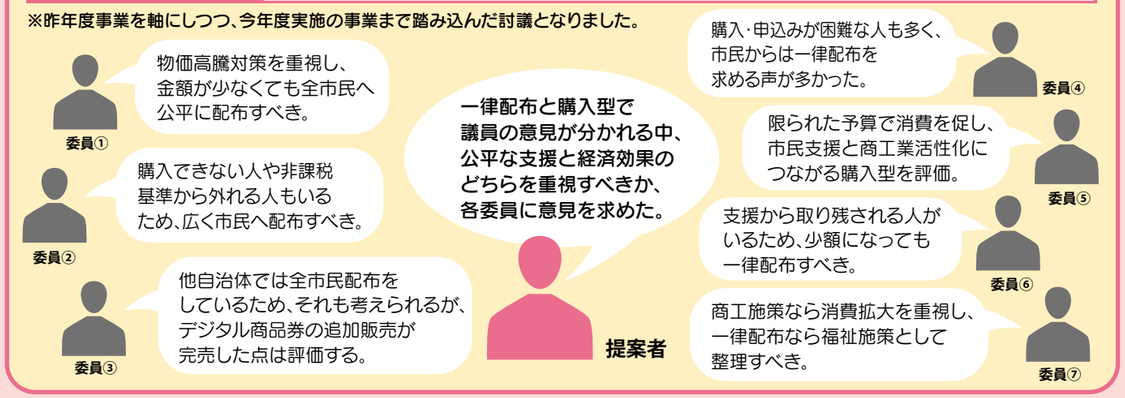
地域で楽しく介護予防！『通いの場』

質問 住民主体の『通いの場』は介護予防に大変有効である。現在の参加実績と、公民館以外の活動場所に対する市の支援策を伺う。

答え 現在65箇所で開催し、延べ約3万6千人が参加しており、健康維持に大きく貢献している。今後は公民館の予約が難しい場合、代替施設での開催支援など、より活動しやすい環境づくりを協議していく。

委員間討議　プレミアム付き商品券事業について

※昨年度事業を軸にしつつ、今年度実施の事業まで踏み込んだ討議となりました。



予算決算委員会（令和8年度　補正予算）9月15日(火)

国際交流支援の増額理由は何か

質問 国際交流奨励費補助金を増額する理由は何か。また、今後の申請増への予算確保と、市外在住の高校生への対象拡大の考えは。

答え 高校生の海外研修や姉妹校交流など計８件、94万円の申請を見込む。補助金の増額は、今後も公平性に配慮し必要に応じて補正予算で対応する。市外在住の高校生への対象拡大は、予算規模も踏まえ検討していく。

繰り返す災害、復旧工法は十分か

質問 ６月大雨に伴う災害復旧事業35件について、工法や事業費は確定しているのか。また、全て年度内に完了する見込みなのか。

答え 災害復旧事業35件はほぼ全て修繕で、見積りなどを基に概ねの金額を予算化している。一部に設計を要するため金額が多少変動する可能性はあるが、現場状況を確認しながら修繕を進め、全て年度内の完了を予定している。

避難所の備蓄は十分か

質問 災害時、避難所によって支援に差が出ないよう、簡易ベッドやパーティションなどの備蓄は十分に確保されているか。

答え 平成28年に発生した熊本地震時の避難者数を基に、人口の約５%が３日間利用できる量を目安に備蓄している。なお、簡易ベッドでは97.4%、パーティションでは97.5%の備蓄率となっている。

生活のしづらさ調査の活用状況

質問 生活のしづらさを抱える方の実態やニーズを把握する目的で行う調査では、調査対象、具体的な調査方法、調査結果を必要な支援にどうつなげるのか。

答え 市内２地区約120世帯を訪問し、対象者の有無を確認。該当者には調査票を配布し、郵送で回収する。調査結果は、国の障がい者施策の推進に向けた検討に基礎資料となり、市の施策に反映していく。

物価高騰対策支援の公平性は

質問 上下水道料金等の減免で、公共の上下水道等へ未接続世帯は支援対象外となる。物価高騰対策として公平性をどう考えるのか。

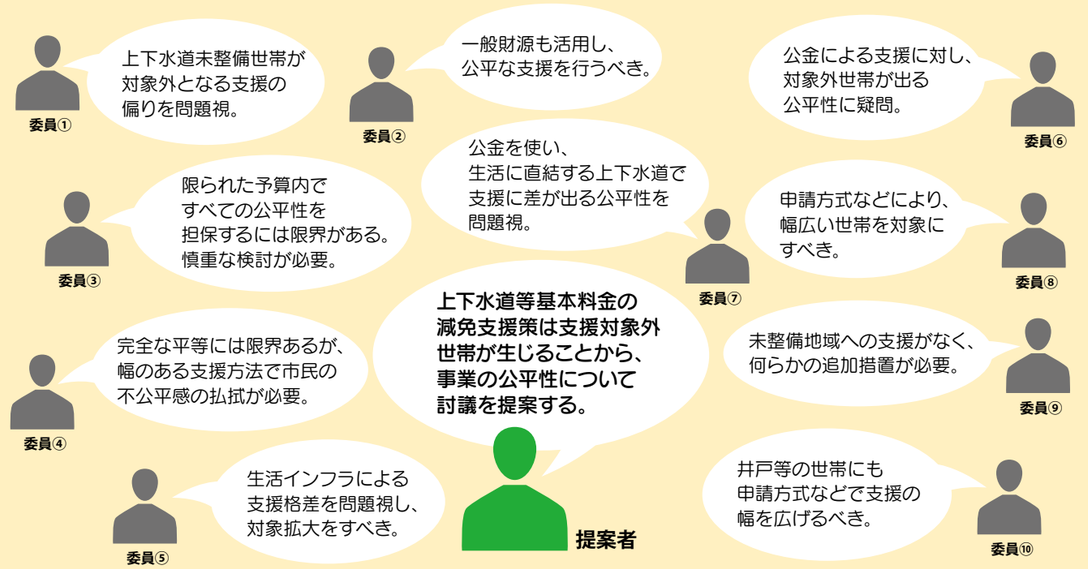
答え 国の交付金の推奨事業として、上下水道料金等の減免による生活支援を行なう。市が料金・使用料を賦課している世帯を対象に、３か月間の基本料金等を減免し、物価高騰による市民の負担軽減を図る。

介護保険料過年度還付金の発生原因

質問 介護保険料の還付金について、市の事務処理が原因で発生したものではないのか。また、今回の100万円の発生原因と性質について問う。

答え 還付は死亡者への精算などにより発生する。市の処理が原因となることは考えにくい。今回はシステム標準化に伴い、昨年度処理すべき還付が本年度にずれ込んだもので、制度上やむを得ない。

委員間討議　上下水道の基本料金減免支援策について



委員会審査

総務委員会　9/16(水)

岩崎排水機場の浸水対策を強化

質問 岩崎排水機場に導入する排水ポンプユニットの能力や選定理由は何か。既存施設の更新まで何年間の運用を想定しているのか。

答え ３基で排水ポンプ車約4.5台分の能力があり、購入費や維持管理費などを総合的に比較し選定した。老朽化した岩崎排水機場を将来更新するまでの暫定設備として、約10年間の運用を想定している。

天水小学校工事費増額、その要因は

質問 天水小学校建設で工事費の増額が続いているが、その要因は何か。事前調査や設計、積算、市の確認体制に問題はなかったのか。

答え 資材価格上昇や事前調査箇所以外から66トンの転石が見つかり、撤去費等が増加した。また、プール工事の数量拾いに漏れがあり、市の最終確認も不十分だった。今後は確認体制を強化し、積算・設計の精度向上に努める。

建設経済委員会　9/17(木)

水道料金改定と今後の経営見通し

質問 今回の水道料金改定によって赤字は解消できるのか。また、今後の人口減少も見込んだ料金設定となっているのか。

答え 料金改定後は単年度ごとの黒字を確保し、３年間で累積赤字を解消する見込みである。料金は人口減少も見込んで設定しており、計画上は令和16年まで黒字が続く見込みである。

漁港管理と今後の集約

質問 市内漁港の利用減少を踏まえ、将来的に5つの漁港を集約する考えはあるのか。また、停泊料はどのように決めているのか。

答え 市内5漁港については、利用状況などを踏まえ、今後集約が必要になると認識している。停泊料は市が徴収するものではなく、各漁協が金額を決めて徴収している。

文教厚生委員会　9/17(木)

豊かな学びの実現を図るための2027年度玉名市における特別支援教育支援員の増員を求める請願

支援対象児童生徒数と支援員数の現状

質問 支援対象児童生徒数と支援員配置の現状は。

答え 支援対象児童生徒数は令和元年度521名から令和７年度243名へ約53%減少。一方、支援員数は48名から45名とほぼ維持している。

現在の配置で支援は手厚くなっているのか

質問 支援対象者が減少する中、現在の配置による具体的な効果は。

答え 支援員が子どもたちと向き合える時間や回数は増えており、一人一人の教育的ニーズに応じた学びにつながっている。

現場が求める支援をどう把握しているのか

質問 現場では十分な支援が届いていないとの声もあるが、配置をどう判断しているのか。

答え 毎年度、特別な支援が必要な児童生徒数を調査し、学校が求める支援内容や児童生徒の在籍数などを配置の判断材料としている。

本当の人員不足は支援員なのか、教員なのか

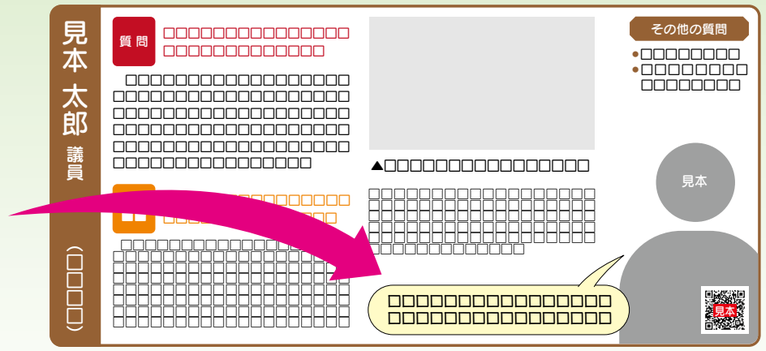
質問 学校現場で不足しているのは支援員なのか、それとも教員なのか。

答え 大きな課題は、産休・病休等の代替となる臨時的任用教職員の不足であり、支援員とは別に教員免許を持つ人材確保が必要である。

紙面の内容が ちょっと 変わります！

今号から私たち議員がどのような考えや思いを持っているか。少しでも見えるようにつぶやきを加えています。

ぜひ、ご一読いただけますと議員一同うれしい限りです。



ここが聞きたい！ 一般質問

吉田 憲司 議員（創政未来）

質問 災害時、本市の『福祉避難所』の現状は

福祉避難所は、高齢者、障がい者、妊産婦などの要配慮者が利用する避難所だが、本市は既存の12か所の高齢者施設と協定を結び、指定をしている。今回の地震を受けて、今後の改善点は。



◀各指定避難場所等の一覧も記載されている『玉名市総合防災ハザードマップ』

健康福祉部長 福祉避難所協定施設と工夫しながら有事の開設、運営を目指す

昨年の豪雨災害で初開設。発災後に受入施設を探し、要配慮者の移送、施設側との費用面調整などに課題があった。その後、協定施設との連携会議で意見交換を行い、災害内容や規模で状況は異なることから、密に連携を図り、対応するとの共通見解に至った。また、今年６月の大雨や熊本地震の際は、事前に各施設の受入人数を把握して準備体制を整えることができた。今後もあらゆる場面を想定して対応を検討していく。

九州看護福祉大学を指定すれば、設備もあるし学生のサポートも受けられるかも・・・

その他の質問
- 安心安全な通学路
- 本市行政と広域行政の将来的な方向性



大野 豊重 議員（市民クラブ）

質問 平和教育で教える非核三原則と大人社会の見直し論に矛盾はないか

学校では平和教育として非核三原則を教え、本市も「非核玉名市宣言」を掲げている。一方、安全保障を理由に非核三原則の見直し論がある中、子どもに教える平和の理念と大人社会の姿勢に矛盾が生じないよう、非核三原則を堅持する本市の考えを問う。



▲平和教育で学ぶ非核三原則の授業風景イメージ

市長 引き続き教育委員会とも連携して平和な社会の実現に向けて取り組んでいく

平和な社会なくして市民の笑顔があふれることはあり得ないため、平和な社会の実現を切に願っている。現在、非核三原則はその実現のために有効な方針であると考えている。昨今、世界平和の実現に向けて様々な議論がなされているが、何が平和な社会の実現のために最も有効な道であるかを大切にしながら、引き続き教育委員会とも連携して平和な社会の実現に向けて取り組んでいく。

子どもに平和を教えながら、大人がその理念を揺るがしてよいのか。今こそ考えたい…

その他の質問
- 災害時における災害ごみ対策と平時からの備え
- ICT教育とAIについて
- 第３次玉名市総合計画について



９月定例会の一般質問は９月７日、８日、９日の３日間行いました。

坂西 麻由 議員（第二新生クラブ）

質問 異常気象や地震、物価高騰から農業を守る市独自の経営安定支援をどう進めるのか

豪雨や酷暑、干ばつ、地震など災害に加え、農業機械・燃油・肥料・資材・人件費等の高騰で農業経営は厳しさを増している。その都度の負担軽減策だけでなく、収入保険など農業者の収入を支え、今後も営農を継続できる市独自の経営安定支援を求める。

産業経済部長 国・県等の支援制度や予算を有効に活用し、現行の市単独事業を継続する

これまで本市では全国的な農業資材等の高騰などを背景に、国の交付金等を活用し、より多くの農業、畜産業の方々に行き渡るよう農業機械や生産資材等の購入費を市が独自に支援してきた。令和９年度以降も、農業を取り巻く情勢を注視しながら国や県の支援制度や予算を有効に活用し、全ての農業者の経営安定に向けた実効性の高い支援策を講じていく。


生成AI使用

その他の質問
- 高齢者の移動支援
- 九州看護福祉大学の公立化に向けた大学運営と市民への説明


農業を続けられ、次世代にも展望が持てる経営を支えたい…

吉田 真樹子 議員（創政未来）

質問 人生100年時代を見据え、本市版の終活支援の構築をしては

高齢化が進む中、終活に関する相談や情報提供の現状を確認し、人生会議の普及、生前整理による空き家対策、エンディングノートの活用など、市民が安心して人生の最終段階を迎えるため、早い段階から備える本市版の終活支援体制の構築を求める。

健康福祉部長、建設部長 人生100年時代を見据え、終活支援の充実へ多角的に取り組む

終活は、市民が人生の最終段階を安心して過ごす上で重要な取組である。市は終活講座や人生会議の普及活動、また生前整理による空き家対策の支援を実施。エンディングノートは既存の質の高いものを活用・推奨し、市民が情報へアクセスできるよう窓口の情報提供の在り方について検討を進める。また、終活を『自分事』と捉える気運を全世代で高め、きめ細やかな支援充実に向け様々な手法を検討する。



◀終活セミナー配布のエンディングノート


もっと早く取り組むべき支援だったと考える。今後、継続した支援を望む…

徳村 登志郎 議員（公明党）

質問 AIデマンド交通※と公共ライドシェアによる交通不便地域の解消に見解を求める

天水地区の通院など交通課題の解消に向け、AIデマンド交通と公共ライドシェアの導入を問う。既存のタクシー事業者との共存・連携を図り、過疎対策事業債等を活用した実証実験と本格導入について見解を問う。

市長 移動課題解決の可能性を秘めており、利便性向上が期待できる

AIデマンド交通や公共ライドシェアは、多様なニーズに合わせたサービスを提供できるものと理解している。新たな交通手段は、既存の交通事業者との共存連携が不可欠であり、実証実験についても、検証項目を明確に設定し効果と客観的な評価が重要であるため、玉名市地域公共交通会議で十分な議論を行い、調査研究を行う。結果を踏まえ過疎指定を受けた天水地区をモデルとした実証実験に向けて検討を進めていく。


▲実証実験イメージ　生成AI使用

※AIデマンド交通…AIが予約情報をもとに、個人の需要に応じた最適ルートを設定するサービス

その他の質問
- 災害時における応援職員の受入れ体制


天水地区をモデルに、AIデマンド交通と公共ライドシェアの実証実験へ一歩前進です…

中村 慎吾 議員（第三新生クラブ）

質問 天水小学校校舎建設が遅れることによる児童生徒・保護者への影響と対応

開校が遅れることによって生じる問題で、既存校舎の一時利用、通学支援などの代替え措置を検討・計画しているのか。児童生徒・保護者・教職員の配置・通学方法・学校行事（運動会・プール）などに、どの様な影響を及ぼすと想定しているのか。

教育長 工事遅延で令和９年４月の新校舎での天水小開校は困難。現小天小を活用し開校

天水小学校校舎の完成までの間、近接する現在の小天小学校校舎の活用を予定している。また、授業実施に必要な環境整備においては、学校運営に支障が生じないよう万全を期す。通学支援についても、児童の安全性・利便性を最優先に、安全な通学路の検討とスクールバス運用の調整を進める。新天水小学校の開校式、入学式等は、現小天小学校にて実施を予定し、運動会やプール活動については、今後詳細に検討を進める。


▲建設中の天水小学校校舎

その他の質問
- 人口減少を見据えた農業と地域の維持


地域との約束事であった小学校の建設に遅れが生じた事は誠に遺憾…

田中 美鈴 議員（新生クラブ）

質問 避難所の現状と熊本地震の課題を踏まえ、多様なニーズに対応する設備強化を問う

大規模災害時、二次避難所は空調の未設置や和式トイレが中心の所が多い。多様なニーズに対応し、「スフィア基準」や「TKB」※の観点に沿って速やかに改善を図るため、今後の避難所整備に対する本市の考えを問う。

総務部長 避難所設備の改修については、各施設所管と協議しながら今後検討を進めていく

避難所設備の改修については、避難所となりえる学校体育館等においては、現在空調設備の設置が順次進められている。その他、トイレの洋式化やマンホールトイレの設置などの施設の改修については、各施設所管と協議しながら、今後検討を進めていきたい。



▲マンホールトイレの4つの特徴

※TKB…災害時に人にとって欠かせない「トイレ（Toilet）」、「食事（Kitchen）」、「睡眠（Bed）」の3要素

その他の質問
- 令和８年熊本地震を踏まえたより実効性のある地域防災対策
- こども性暴力防止法施行を見据えた取組と、安全安心な教育・保育環境の構築を


温かい食事とベッド、清潔なトイレ。誰もが少しでも安心できる避難所になるといいな…

北本 将幸 議員（創政未来）

質問 熊本地震における市内観光に関する影響は

熊本地震において観光業にも影響が出ているが、市内における状況は。また、国においては、ふっこう応援割など支援事業を実施される予定であるが、市における独自の支援に対する見解は。

産業経済部首席審議員 市内観光業者の経済的影響を鑑み、国の支援に併せ独自支援も検討を進める

地震発生後、市内の宿泊施設においては建物等への直接的被害は少なかったものの、予約キャンセルや宿泊需要の減少など経済的な影響が生じていると認識している。国や県の支援策の動向を注視してきたが、「九州ふっこう応援割」が発表されたため、まずは「九州ふっこう応援割」が本市の宿泊施設で利用していただけるよう情報発信に注力しつつ、今後本市独自の支援策も検討していきたい。



▲玉名市の観光情報が見れるHP『タマてバコ』

その他の質問
- 第2期玉名市観光振興計画アクションプラン


大きな影響が出ている観光事業にも市独自の支援を検討してほしい！

多田隈 啓二 議員（創政未来）

質問 同じ玉名市民なのに支援に格差、水道料金免除の対象外の世帯にも公平な支援を

物価高騰対策として水道料金が減免される一方、井戸水利用など約6,300世帯が対象外である。また、下水道・浄化槽等でも約1万1,900世帯が対象外となる。同じ玉名市民に支援格差が生じないよう、減免相当額の現金給付など公平な支援を求める。

企業局長 上下水道料金等の基本料金を減免し負担の軽減を図る

本市としても物価高騰の影響が広く市民に及んでいることから、上下水道料金等の基本料金の減免対象外となる世帯への経済的支援について、関係部局と検討を行ってきた。しかしながら、今回の物価高騰対策支援については、上下水道、農業集落排水処理施設及び公共浄化槽を使用し、公共料金として料金及び使用料を現に賦課している世帯に対し、基本料金を減免することで負担の軽減を図るものである。



◀熊本市の減免とならない世帯への給付支援

その他の質問
- 入札問題について
- 熊本地震と本市の防災及び昨年の豪雨災害



支援から漏れる世帯を補完し、物価高騰対策をより公平に届けてほしい…

右田 憲吾 議員（市民クラブ）

質問 交通安全プログラムで危険箇所をどの程度改善され安全性が確保されているか

本市では関係機関が連携し、通学路の危険箇所について合同点検を行い対策を進め改善につなげている。特に毎日通学する横断歩道においては子どもの命を脅かす危険因子となり得る。対策後の点検はどのように行われ、安全性が確保されているのか。

教育部長 危険箇所の解消を図り、児童生徒が安全かつ安心して通学できるように努める

通学路の安全・安心の確保は重要な課題の一つであり、危険箇所の解消を図るため、関係各所と緊密に連携し、通学路交通安全プログラムを毎年実施している。内容を詳細に精査し、緊急性や重要度を考慮した上で優先順位を付け、順次対応を図っている。



▲通学路の様子

特に重要であると判断した箇所については、関係各所との合同点検を実施し、今後の具体的な改善策について検討を進め、結果を市ホームページにて公表している。

その他の質問
- 防災減災対策について
- 第3次玉名市総合計画基本構想に掲げるウェルビーイング



子どもたちの通学路や市民の方が使う道路の危険箇所は、早期改善、安全対策が重要…

立川 信之 議員（第二新生クラブ）

質問 今後の教育行政について、学校再編、暑さ対策、特別支援教育の推進は

教育DXの推進、指導体制の拡充、不登校対策、部活動の地域展開など教育長の実績を評価する。そのうえで、任期満了を踏まえ、学校再編、暑さ対策特別支援教育を中心に今後の教育行政の取組や展望について伺う。

教育長 それぞれの可能性を最大限に伸ばせるよう、多岐にわたる取組を進めている

未来を担う子どもたちの教育環境整備と内容充実に尽力している。少子化対応として学校再編を推進し、令和9年度には天水小学校が開校する。また、猛暑対策として、体育館へのエアコン設置等も計画的に進め、来年度中には市内全小中学校体育館に設置完了を予定している。特別支援教育では、インクルーシブ教育システム構築のため、関係機関と連携し、一人一人に応じたきめ細やかな支援体制を構築している。



▲猛暑対策として設置するエアコン



福島教育長、3期目も期待しています！

田浦 敏晴 議員（第三新生クラブ）

質問 特別支援学級の現状と子どもに適した学びの場の確保にどう取り組んでいるのか

全国的に特別支援学級に在籍する児童生徒数や学級数が増加し、学びの場が必ずしも適正とはいえない児童生徒の増加が課題になっていると聞く。本市の特別支援学級の現状と子どもに適した学びの場の確保に向けてどのような取組が進められるのか。

教育長 専門家や関係各課と連携しながら、厳正かつ適正に学びの場を決定している

本市立学校の特別支援学級については、この3年間で児童生徒数は約1.1倍、学級数は約0.9倍とほぼ横ばいの状態である。本市では、子どもたちにとっての最適な学びの場を総合的に判断するため、医学や教育、福祉等の専門家の意見を聞く教育支援委員会を年2回実施している。また、申請書だけで判断するのではなく、関係各課と連携しながら、実際に見て聞いて情報収集や協議を行い、厳正かつ適正に学びの場を決定している。



▲障がいの有無に関わらず共に学び、共に育つ教育

その他の質問
- 教育行政の成果と課題
- 市民の利便性向上につながる郵便局の利活用



一人一人の子どもの教育的ニーズに最も適した学びの環境を整えて行くことが重要…

緒方 亜利沙 議員（第三新生クラブ）

質問 小中学校の学習端末iPadを導入されたねらいと今後の展開

今年度、小中学校の学習端末にiPadが導入された。直感的な操作は子どもの意見表明や多様性の尊重を後押しし、充実した支援機能はインクルーシブ教育に有効である。iPad導入の狙いと、その特性を今後の教育現場でどう活用していくか伺う。

教育部長 iPadの直感的な操作性を生かし、電子黒板等との連携により学力向上を図る

iPad導入の狙いについては、児童生徒にとって直感的な操作性により、扱いやすく、授業や家庭学習においても継続的に活用しやすく、教職員にとっても、教材準備や授業にかかる時間を削減し、働き方改革の推進が期待される。教育現場において、電子黒板やデジタル教科書等と効果的に連携させ、『個別最適な学び』と『協働的な学び』のさらなる充実により、学習効果を高め、学力向上につなげていく。



▲iPadで授業を受けている様子

その他の質問
- 途切れない育ちを支える幼保小中の環境づくり



学びも第二世代へ！ICTの『考えて伝える』画期的な表現力で子どもを全力応援😆

山下 桂造 議員（自友クラブ）

質問 支援届かぬ市民の痛みに寄り添い、全世帯への暖かい物価高騰対策を

「少しの差で支援をもらえず、とり残されたようでつらい」という、給付を受けられない市民の切実な声がある中、制度のはざまで悩む方々にどう寄り添うのか。非課税世帯だけでなく、全ての世帯に暖かい目を向けた物価高騰対策を求める。

健康福祉部長 社会情勢や国の動向等を見極めつつ、必要な対応を検討する

本市ではこれまで、国の物価高騰対策のための交付金の趣旨や限られた財源などを勘案し、市民の皆様への支援としては、特に影響の大きい低所得世帯や子育て世帯等に重点的な現金給付の他、地域商品券の配布、学校給食費の補填等を行ってきたが、一方で物価高騰は現在も継続し、様々な分野で影響を及ぼし続けているため、今後、社会情勢等を見極めつつ、全世帯を対象とするなど必要に応じた更なる対策を検討していく。



生成AI使用

その他の質問
- 国・県・企業等との協定等の適切な管理及び組織体制・人事異動
- 令和8年熊本地震から学ぶ防災・減災対策
- 玉名市ロビーコンサート
- 公共施設を活用した低コストな猛暑対策の推進



物価高騰は全員のこと。全員にもれなく政府の思いが届くように…

議員勉強会

7/22(水)

松原海水浴場から「しおまちパーク」へ



27年ほど前はシャクやアサリなどの海産物を販売していた『磯の里』や、地域住民が集う『潮湯』が、指定管理者のもとお洒落で魅力ある施設へと生まれ変わっていた。本市が有する財産を生かし、海・海岸を資源とした地域活性化と交流人口の増加を目指す『しおまちパーク』の今後に大きな期待を寄せる視察となった。

（吉田真樹子）

8/18(火)

九州看護福祉大学の施設見学へ



九州看護福祉大学を視察し、各学科の充実した施設・設備と実践的な教育環境を確認した。公立化を見据え、今後はさらに地域に開かれ、地域と共に歩む大学運営が重要だと感じた。

（坂西麻由）



勉強はつづくよどこまでも・・・

議員報酬と議員定数の改定について　7月29日(水)



今回の研修を通じて、議員報酬や議員定数を論じる前に、私たち議員自身が、その役割と責務を十分に果たしているのかを問い直す必要があると痛感した。市民の声を聴き、市政に届けることはもちろん、議会の場で自らの考えを持って発言し、行政を監視し、予算や条例を責任を持って審議・判断することが議員の責務である。議員一人一人が日々研さんし、活動の質を高めることが、市民への理解を深めることにつながると感じた。

（大野豊重）

熊本地震でも実感。水の大切さ ～玉名の「水」の今を知る勉強会～　8月14日(金)



玉名市の水事情は厳しさを増しているようだ。人口減少による利用料等の減収、上下水道施設や管路の老朽化による維持管理費が増大している。ここ数年は赤字が続き、不足分を一般会計から補てんしている。数年後には料金改定は不可避の状況とのこと。人口減少対策、住宅政策等の部署の垣根を超えた早急なる議論・対策が求められる。水は命の根源である。

（吉田憲司）

先進地視察レポート

建設経済委員会　7月8日(水)～10日(金)

伊勢市に学ぶ空き家利活用策



納税通知書へ空き家に関する啓発チラシの同封や解体費用シミュレーターの導入、古民家の民泊改修などを展開。空家解体費用補助に重点を置く本市でも民間連携による利活用促進策は有効であり、導入に向け検討を進める必要がある。

（梅田政次郎）

鳥羽市の宿泊税導入に学ぶ



令和８年４月から宿泊税を導入し、税収を宿泊施設の環境整備や観光振興に今後活用予定。宿泊施設の魅力向上は誘客促進にもつながることから、本市でも導入の是非について検討を進める必要があると感じた。

（梅田政次郎）

大学公立化調査特別委員会　8月4日(火)～5日(水)

公立千歳科学技術大学の公立化までの経緯と公立化後の状況について学ぶ



公立化に至る経緯や財政運営、地域貢献、人材育成について学んだ。公立化により志願者は増加した一方、運営費交付金だけでは賄えず、市の負担も生じている実態を確認した。公立化にあたって財政面と地域への効果を長期的な視点で総合的に検討する重要性を認識した。

（坂西麻由）

議会の情報をいち早くキャッチ!

市議会では、玉名市公式 LINE で市議会の日程や一般質問の予定項目などを通知しています。

市議会の情報をいち早くキャッチできますので、玉名市公式 LINE の登録がまだの方は、この機会にぜひ「友だち追加」をお願いします!

玉名市公式 LINE登録はコチラ



スマートフォンへの通知は、こんな感じです

市議会を傍聴しませんか

議会は原則として公開しており、どなたでも傍聴することができます。

次の定例会スケジュールは以下をご覧ください。



議会の主な動き

7月	7日	議会広報広聴特別委員会
	8日~10日	建設経済委員会行政視察
	15日	議会広報広聴特別委員会
	22日	しおまちパークに関する議員勉強会
	24日	玉名市水産連絡会議
	27日	有明広域行政事務組合定例議会
	29日	議員定数及び議員報酬等に関する議員研修会
8月	4日	県北市議会連絡協議会
	4日~5日	大学公立化調査特別委員会行政視察
	14日	企業局所管事務に関する議員勉強会
	18日	議会改革推進特別委員会
	18日	九州看護福祉大学施設に関する議員勉強会
	20日	議会運営委員会
	27日	9月定例会開会
9月	7日~9日	一般質問
	11日14日15日	予算決算委員会
	16日	総務委員会
	17日	建設経済委員会･文教厚生委員会
	25日	9月定例会閉会

12月定例会スケジュール

開始時刻　10:00

11月20日 ㈭	議会運営委員会
11月27日 ㈭	開会
12月８日 ㈫	一般質問
12月９日 ㈬	一般質問
12月10日 ㈭	一般質問
12月11日 ㈮	一般質問
12月14日 ㈪	予算決算委員会
12月15日 ㈫	10:00 総務委員会 13:00 大学公立化調査特別委員会
12月16日 ㈬	10:00 建設経済委員会 13:00 文教厚生委員会
12月21日 ㈪	閉会

※都合により変更になることがあります。

【議会広報広聴特別委員会】

（委員長）吉田憲司　（副委員長）坂西麻由

（委　員）緒方亜利沙　梅田政次郎　西村　太

大野豊重　一瀬重隆　徳村登志郎

編集後記

8月の熊本地震で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。玉名市でも揺れを感じ、平時からの防災の重要性や、当たり前の生活や農作業の尊さを痛感する日々です。本号では9月議会の内容を分かりやすくお伝えできるよう編集に努めました。災害への備えも含め、今後の玉名市をどうしていくか。以前いただいた厳しいご意見も真摯に受け止め、市民の皆様と対話を重ねながら取り組んでまいります。

（梅田政次郎）

☆ホームページのアクセスは、検索画面で 玉名市議会 検索 を入力してクリック!

2026.11.1 No.84

玉名市議会だより

gikai@city.tamana.lg.jp

印刷部数:25,500部

発行：玉名市議会　編集：議会広報広聴特別委員会

〒865-8501　熊本県玉名市岩崎163

TEL：0968-75-1155　FAX：0968-71-0622

この広報紙は再生紙および地球環境にやさしい植物油型インキを使用しています。